

※学校で証明を受けた後、日本学生支援機構に提出してください。

※楷書ではっきり記入してください。

※2020年4月以降に適用可能な在学猶予取得年数は、通算10年(120か月)までとなります。

※スカラネット・パーソナル(インターネット)でも在学猶予願の提出ができます。
※在学猶予が承認された後、短縮卒業・退学等の理由により、在学期間に変更が生じた場合は、届け出てください。

在 学 届

在学期間短縮の場合は☑してください。

☐ 在学期間短縮

データ種別			
1	2	3	4
1	3	1	6

奨 学 生 番 号									
記号									
5			8		10				15

フリガナ			
氏 名			
生年月日	年	月	日生
連絡先電話番号	- -		

姓 (カタカナ)			
17			

↑ ここから記入

現在の入学年月	
西暦年	月

↑ 西暦の下2桁を記入

現在の卒業予定期		
西暦年	月	在学年数
28		
29		3
		34

↑ 西暦の下2桁を記入

借用・給付終了時の学校名			
借用・給付終了年月・事由	年	月分まで受領	満期・辞退・退学・廃止

該当する場合のみ○で囲む → 留年・休学・在籍中の留学・通信教育・放送大学

現在の学籍(学生証)番号

学校名

_____ 大学 _____ 学 部 _____ 学科

昼間部
夜間部

 _____ 学年

_____ 大学院 _____ 研究科 _____ 専攻科

M	C
D	C
D	医歯
D	一貫

 _____ 学年

専修学校名 _____ 学校 _____ 高等課程 _____ 分野 _____ 学年

_____ 専門課程 _____ 学科 _____ 学年

(修業年限 年課程)

高等専門学校・高等学校名 _____ 学校 _____ 学年

上記のとおり在学している(いた)ことを証明します。

年 月 日

電話番号(担当者名)

()

学校番号

区分

3 0 4 0 1 2

学校長名

大学長名

(関係部課長)

【連絡事項欄】 (在学期間短縮の場合は、退学等の学籍日を記入してください。)

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与・給付業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、連帯保証人、保証人、学校、金融機関及び業務委託先に、また、機関保証制度加入者の本人連絡先情報が本人以外の連絡先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。

※学校で証明を受けた後、日本学生支援機構に提出してください。

※楷書ではっきり記入してください。

※2020年4月以降に適用可能な在学猶予取得年数は、通算10年(120か月)までとなります。

※スカラネット・パーソナル(インターネット)でも在学猶予願の提出ができます。
※在学猶予が承認された後、短縮卒業・退学等の理由により、在学期間に変更が生じた場合は、届け出てください。

データ種別			
1	2	3	4
1	3	1	6

在 学 届

在学期間短縮の場合は☑してください。

☐ 在学期間短縮

奨 学 生 番 号									
記号									
5			8		10				15
									CD

フリガナ	
氏 名	
生年月日	年 月 日生
連絡先電話番号	- -

姓 (カタカナ)			
17			

現在校の入学年月	
西暦年	月
2 1 0 4	

現在校の卒業予定期		
西暦年	月	在学年数
2 3	3	2

↑ ここから記入

↑ 西暦の下2桁を記入

↑ 西暦の下2桁を記入

借用・給付終了時の学校名	
借用・給付終了年月・事由	2021 年 3 月分まで受領 満期 辞退・退学・廃止

該当する場合のみ○で囲む → 留年・休学・在籍中の留学・通信教育・放送大学

現在校の学籍(学生証)番号

学校名

國學院 大学

学 部

学科

昼間部
夜間部

学年

専修学校名

高等専門学校

記入例

ここより上の欄を全て記入してください

M C
D C
D医歯
D一貫

学年

学年

年課程)

学年

上記のとおり在学している(いた)ことを証明します。

年 月 日

学校長名
大学長名
(関係部課長)

電話番号(担当者名)

()

学校番号

区分

3 0 4 0 1 2

【連絡事項欄】(在学期間短縮の場合は、退学等の学籍日を記入してください。)

編入学のため

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与・給付業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、連帯保証人、保証人、学校、金融機関及び業務委託先に、また、機関保証制度加入者の本人連絡先情報が本人以外の連絡先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。